

フリガナ 氏名	タネダ モトハル 種田 元晴	生年(年齢)	1982 年生 (31 歳)
学歴	2005年3月 法政大学工学部建築学科 卒業 2007年3月 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程 修了 修士(工学) 2012年3月 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻博士後期課程 修了 博士(工学)		
指導教員・専攻分野・研究テーマ・研究概要・読解可能な外国語・所属学会・職歴(非常勤等の教歴)			
①指導教授:安藤 直見 教授	④読解可能な外国語:英語, 仏語		
②専攻分野:建築意匠, 図形科学	⑤所属学会:日本建築学会, 日本図学会, 日本生活学会		
③研究テーマ	⑥職歴(非常勤等の教歴)		
1) 建築家の図面表現に関する研究	2005・2012 法政大学 工学部(現・デザイン工学部) 建築学科 教育補助員		
2) 建築・都市空間の図形情報に関する研究	2011・現在 総合資格学院 一級建築士設計製図講座 非常勤講師		
3) 映画に投影された建築・都市空間に関する研究	2012・現在 東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科 助手		
⑦ 研究概要	1) 建築家の描く図面は, 単に建設に於ける情報連携媒体としての側面を持つだけでなく, それ自身が建築家独自の表現・思想を反映した作品としての側面を持つ。本研究では, 20世紀以降の日本の建築家によって描かれた建築図面の図学的分析を通じて建築家の表現・思想を探る。 2) 社会情勢に敏感に対応し, 変化を余儀なくされる建築・都市空間には, 複雑で多様な形態を持つものも多く見受けられる。建築・都市空間を図形によって構成された形態群と捉え, 図形の特徴を数値化した図形情報を抽出することによって, 複雑で多様な建築・都市空間を形成する要因を探る。 3) 映画等の映像作品は, 娯楽としての側面を持つばかりに, 建築・都市空間を多様に記録したデータベースとしての側面を持つと考えられる。映画を構成するシーンを時系列に並べたタイムテーブルを作成して, 投影された建築・都市空間の様相を定量的に記述し, そのイメージ構築の要因を探る。		
主要研究業績(論文・著書・翻訳・学会発表・受賞など)			
【博士學位論文】 立原道造を端緒とする建築家の住宅図面に表現された田園的建築観に関する研究, 全159頁, 法政大学, 2012.3			
【原著論文(査読有)】			
1) 種田元晴, 安藤直見: 建築家・立原道造の描く外観透視図に表現された田園的建築観, 日本建築学会計画系論文集 670号, pp.2281-2289, 日本建築学会, 2011.12			
2) 種田元晴, 安藤直見: 日本の住宅平面図における介在外部空間 —建築図面情報の抽出による空間解析手法, 図学研究第134号, pp.21-30, 日本図学会, 2011.12			
【国際会議発表論文(査読有)】			
1) Motoharu TANEDA, Mitsusato UCHIDA, Naomi ANDO, <i>THE PLANE FORMS OF JAPANESE DEPARTMENT STORES - A STUDY ON THE VARIETY OF FORMS OF BUILDINGS</i> , Proceedings of The 14th International Conference on Geometry and Graphics, 2010			
【その他の学術論文(査読無)】			
1) 種田元晴: 立原道造の「住宅・エッセイ」にみる建築観の出自, 2013年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2分冊, pp.543-544, 2013			
2) 種田元晴: 固有景観に着目した映画の都市発信効果, 2013年度日本図学会春季大会学術講演論文集, pp.119-124, 2013			
3) 種田元晴: 建築家による外観透視図の添削に込められた観念, 2012年度日本図学会秋季大会学術講演論文集, pp.69-74, 2012			
4) 種田元晴: 立原道造の透視図「無題[浅間山麓の小学校]」における構図の仮想性と田園性, 2012年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2分冊, pp.153-154, 2012			
5) 種田元晴, 安藤直見: 映画に描かれた住空間のイメージ記述に関する研究, 2012年度日本図学会春季大会学術講演論文集, pp.69-74, 2012			
6) 種田元晴, 安藤直見: 戦前の外観透視図における建築と自然の関係 —建築家の透視図表現に関する研究, 2011年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2分冊, pp.57-58, 2011			
7) 種田元晴, 徳永祥樹, 安藤直見: 昭和初期の「新建築」誌に掲載された建築家による透視図表現について, 2010年度日本図学会秋季大会学術講演論文集, pp.45-50, 2010			
8) 種田元晴, 安藤直見: 建築の外部環境へ向けられた意識 —住宅平面に見る内部空間と外部空間の接続関係, 2010年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2分冊, pp.417-418, 2010			
9) 種田元晴, 安藤直見: 日本の住宅作品における様態の変遷に関する考察 —建築の図面情報に関する研究, 2009年度日本図学会秋季大会学術講演論文集, pp.27-32, 2009			
10) 種田元晴, 安藤直見: 空港ターミナルの平面形態の多様性とその特性に関する考察, 2009年度日本図学会春季大会学術講演論文集, pp.173-178, 2009			
11) 種田元晴, 安藤直見: 建築家立原道造の描く透視図に表現された田園的建築観, 2008年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-2分冊, pp.305-306, 2008			
12) 種田元晴, 辻朋子, 安藤直見: 世界遺産アーカイブとしての映画の可能性 —建築・都市空間の記述メディアとしての映画に関する研究, 法政大学工学部研究集報第44号, pp.7-10, 2008			
13) 種田元晴, 安藤直見: 映画に投影された都市景観に関する研究 —映画における固有景観と汎用景観, 2005年度日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1分冊, pp.317-318, 2005			
【著書】			
1) 種田元晴: 統一図面システム, グローバル時代における建築情報連携技術 - 建築生産情報統合ガイドブック・4 -, pp.30-35(共著), 日本建築学会, 2008			
【受賞学術賞】			
1) 日本図学会研究奨励賞(2010年)			
2) 日本図学会優秀研究発表賞(2010年)			
【資格】			
一級建築士 第346050号			
主要論文の概要			
博士學位論文「立原道造を端緒とする建築家の住宅図面に表現された田園的建築観に関する研究」 抒情的な詩人として名高い立原道造(1914-1939)の建築家としての側面について, その建築図面の表現から独自の建築観の特質を検証した論考。特に, 立原の建築透視図における建築本位でない自然優位な構図に着目している。丹下健三(1913-2005)に代表されるように, 戦後に都市的な建築思潮が主流となる一方で, 丹下とほぼ同年代に建築を学び, 丹下にも影響を与えた立原は, 丹下の都市的な透視図表現とは対比的な, 立原独自の「田園的建築観」とよべる観念が表出した透視図を描いていたことを明らかにした。また, 立原に見出した「田園的建築観」は戦前の堀口捨己やフランク・ロイド・ライトらの透視図表現・言説に通ずる観念であり, 現代の建築家による外部優位な計画が見受けられる住宅平面図にも垣間見られることから, 田園的建築観が建築家にとっての普遍的な観念であったことを指摘し, 戦前～戦後の建築思潮に新たな視点を加えることを試みている。透視図の分析に際しては, 構図の特徴や描かれる要素等を数値化する手法を提示し, 統計解析を行って類型・特質を検証した。			
連絡先	E-Mail : mt.totoharu@gmail.com		

